

日本白内障屈折矯正手術学会雑誌

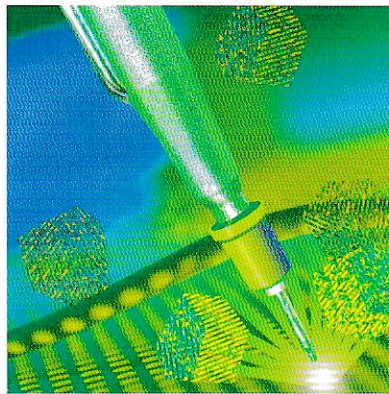
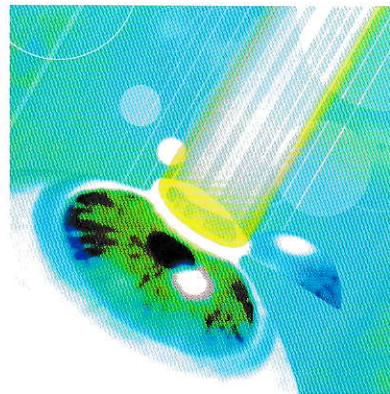
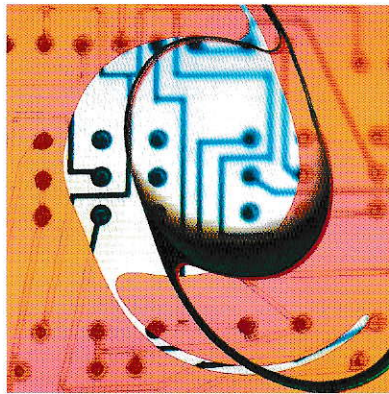
JOL&RS

2021/June

Vol.35

No.2

Japanese Journal of Cataract and Refractive Surgery



【特集】老視治療アップデート

コンタクトレンズによる老視矯正

オルソケラトロジーによる老視矯正

レーシックによる老視矯正「モノビジョンレーシック」

回折型多焦点眼内レンズ 未承認レンズを中心に

土至田 宏

木内 岳, 平岡 孝浩

中村 友昭

野口三太郎

【特集】虹彩異常を伴う白内障

先天性ぶどう膜欠損の白内障手術

虹彩離断, 欠損の対応法

人工虹彩

徳田 芳浩

早田 光孝

森 洋斉

【総説】中京グループの海外医療貢献

市川 一夫

コンサルテーションコーナー

エキスパートに聞く

●話題提供者 吉野 健一●

症 例：57歳，男性。

現病歴：8年前にソフトボールが右眼にあたり，眼窩底骨折と外傷性散瞳をきたした。瞳孔径3mmのSEED社製虹彩付きソフトコンタクトレンズ（soft contact lens 以下 SCL）の装用にて矯正視力1.0を得るも激しい羞明のため，瞳孔形成術と強度近視に対しフェイク intraocular lens（以下 IOL）挿入術も視野に外科的治療を希望して受診する。

初診時所見：視力：VD=0.02（ $0.6\times -14.50D=C-0.50D$ AX15°），VS=0.04（ $1.2p\times -14.00D=C-1.00D$ AX160°）。右眼ピンホール矯正視力：（ $1.0\times -14.50D=C-0.75D$ AX15° c PH）（VD：visus dexter, D：diopter, VS：visus sinister）。眼球運動障害・複視：なし。対光反射：右眼 直接・間接共に消失，左眼 迅速。右瞳孔は極大散瞳（図1）。白内障：両眼共になし。水晶体の動揺：両眼共になし。眼底：異常なし。

[質 問]

本症例のような外傷による麻痺性極大散瞳かつ強度近視眼に対し，いかなる瞳孔形成術と屈折矯正手術を行うか。術中・術後に注意すべきことは何か。

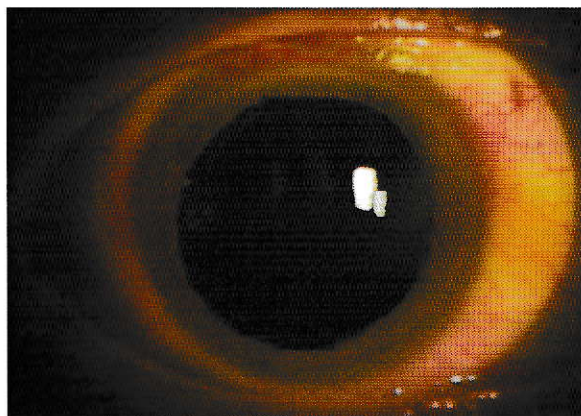


図1 ソフトボールの打撃による右眼外傷後の麻痺性極大散瞳